

猫ひろし選手のチームメイト カンボジアの陸上選手が小学校を訪問

13日(土曜日) 区立方南小学校(方南1-52-14)に、第17回アジア競技大会に出場するカンボジアの陸上選手2名が訪れ、児童と交流しました。

9月19日から10月4日、韓国の仁川で開催される第17回アジア競技大会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの決定以後、初となるアジア地域の大きなスポーツイベントで、日本選手団の活躍が期待されています。

また、異色のランナーとして、新聞やテレビでも大きく取り上げられているのが、お笑いタレントの猫ひろし選手です。猫ひろし選手は、カンボジアのマラソンの代表として、仁川アジア大会に出場します。今日は、その猫選手のチームメイトで、陸上男子400m・800mに出場するキエン・サーモン(32歳)さん。キエンさんは、ロンドンオリンピックにも出場しました。そして、男子5kmに出場するマー・ビロー(28歳)さんが、杉並区立方南小学校を訪問。2人は、東京の皇居や駒沢公園などで最終調整を行うために来日したもので、そのトレーニングなどの支援を受けた日本に少しでも恩返しをとの思いから、この日の表敬訪問となりました。

杉並区では、多くの子どもたちにスポーツや芸術活動などを通して、自分の夢や可能性を高められるよう、「次世代育成基金」を設置して支援を行っています。6年後に開催される東京オリンピック・パラリンピックは、今の小学生が選手として活躍できる大会でもあります。そのため、国内外のトップアスリートとふれ合う機会を大切に考えています。こうした機会は、大きな目標を持ったジュニアアスリートが生まれる可能性を秘めています。



13日(土曜日)午前11時30分、方南小学校にカンボジアの2人の選手などが現れました。通訳と案内役は、3年ほど前から猫ひろしさんの付き人をしているカンボジア人のヴィサルさん。ヴィサルさんは、カンボジアで日本人相手の観光ガイドをしていて、日本語が堪能。猫さんのマラソンのカンボジア代表獲得のサポートもしました。選手たちが学校内に現れると、小学生たちが取り囲み、走り方のコツや練習方法などを、目を輝かせながら質問していました。30分ほどの短い交流でしたが、みんなが書いた寄せ書きを手渡し終了となりました。

【報道機関 問い合わせ先】

方南小学校 TEL: 03-3322-7661
総務部広報課 TEL: 03-3312-2111